

東大寺二月堂声明(Ⅺ-a)

過 去 帳

牧 野 英 三

(奈良教育大学音楽教室)

(昭和58年4月30日受理)

I は じ め に

東大寺修二会の過去帳は、5日と12日の2回、初夜大導師作法の中で読み上げられる(所要時間40～45分)。12日は北衆之一、5日は南衆または参籠5年目の新過去が読役を勤める。14日間毎日読み上げられる神名帳に比し格段の重みをもつ。現存する二月堂修中過去帳の原本は、80紙、35mに及ぶ長大なもので、表紙の見返しには「表紙奉修覆 寛文八^{戊申}二月四日 施主二文字屋庄左衛門」の墨書が見られる。ここには東大寺創建以来近世に至るまでの有縁の諸霊2412名と、造寺の際労働に従事して貢献した206万3638人という人数が記されている。これに近世以降現代までの諸霊が別冊の折本に書き加えられ、総数3700名を超える。この稿では、過去帳の旋律ならびに速度の変化に焦点を当て、その音楽的構成を検討する。

Ⅱ 音楽的構成について

内手洗のあと、大導師は初夜神分の祈句霊分に引続き、「過去帳」と低声でゆっくりと過去帳読役に唱誦を指示する。読役はこれを受けて唱誦に入る。唱誦の態様から過去帳を3つの段に分けることができる。第一段は始めから「40」までの部分で、総じて低声でhを中心に旋律が構成されており、ゆっくりと荘重に唱える。第二段は「41」から「328」までの部分で、「中駟ケ」といわれるように速度は可成り速められ、音域も高くなりéが中心になって旋律ができています。第三段は「早駟ケ」と称し前段の凡そ倍の速度に速められ殆ど棒読の形となる。中心になる音はéで要所で速度を緩め、hを主とした旋律が配置されている。「329」からこの唱誦の形をとる。

1. 「第一段」 「東大寺上院修中過去帳」で始められる過去帳読み上げは、総国分寺総本山東大寺ならではの威厳と歴史の重さをもって響く。「1」の「大伽藍本願聖武皇帝」の旋律は殆どhに終始し、その独特のリズムとともにこの段の一貫したパターンになっている。「25、26、28」等の「奉加セル」の部分にあらわれるcis、cis、cis、h、hの旋律パターンも効果的である。このような緩徐、しかも低音の進行の中で、「11」の「供養講師隆尊律師」、「29～34」の「別当良興僧都、良慧僧都、永興僧都、伝戒根本大匠鑑真和尚、鏡忍律師、法進僧都」の部分は、中心音は完全4度も高いéになり、速度も基本速度の倍にも当る♩=72～80に変化する。意表を衝いた手法と言わざるを得ない。音高、速度の両面から充分配慮されたこのフレーズの配置は当を得ているし、第一段全体を引締めている。第一段は過去帳の中でも最も重要な部分である。

2. 「第二段」は「41」の「大炊天皇」から「328」の「延果大僧正」までの部分で、速度は第

一段の倍に速められる。前段の「11」「29～34」に速度、音進行も酷似していることは興味深い。全体を通じ \dot{e} を中心に旋律は動いている。第一段では緩徐な速度の旋律の流れの中に数箇所速度の速い、しかも低音の旋律を配置して効果をあげているが、この段では速い速度の旋律の中に逆に低音で速度の遅い旋律を織込んでいいる。両者全く所をかえている構図である。この段 388人の諸霊の中で低音、かつ緩徐に唱えられるのは「68～73」の「桓武天皇、湛久君、井上親王、安積親王、不破内親王、崇道天皇」、「86～87」の「文徳天皇、真雅僧正」、「233～236」の「後一条天皇、後朱雀天皇、後冷泉天皇、後三条天皇」、「327～328」の「青衣女人、延杲大僧正」等である。皇室関係の諸霊が多くみられるが、その意味からもこのような表現の方法をとったものか。また逆に「309」の「当寺造営大施主將軍頼朝右大将」では中心音 \dot{e} より更に1音高い fis が大部分を占めている。東大寺再建に尽した將軍を遇するに最も相応しい手法と思われる。前述の「青衣女人」は頼朝から18人目に唱えられるが、低音 h の連続音で格別に遅く、物悲しく読み上げられる。

3. 「第三段」 この段は殆ど棒読みになる。「329」の「東大寺勸進大和尚位南無阿弥陀仏」に始まる。本稿は「459」の「奉宝物慶玄法師」までの本文と旋律譜を載せてあるが、二月堂の原本に記載分の残りの中、「671」の「法華經一部並開結二經施入比立尼妙縁」までは同じ読み方で記載順に読み上げられる。「672～2412」の部分と追加として書き加えられている「2413～3694」の3023名の諸霊については、20名前後読役が抜き読みをする。明治22年以降における、「3696」の「華嚴宗管長東大寺別当大僧正鼓阪荐海」、「3701」の「宝嚴院権大僧都海海」、「3702」の「上之坊権大僧都富小路寛巽」、「3711」の「華嚴宗管長東大寺別当大僧正英慶」、「3721」の「華嚴宗管長東大寺別当大僧正公俊」、「3762」の「華嚴宗管長東大寺別当大僧正英俊」、「3729」の「華嚴宗管長東大寺別当大僧正海雲」、「3730」の「華嚴宗管長東大寺別当大僧正公海」、「3731」の「忠純法師」、「3732」の「贈権大僧正新薬師寺隆聖」等36名の諸霊について記載順に読み上げられる。そして「かう候」と唱えて終る。

Ⅲ あ と が き

12世紀はじめには過去帳読み上げが行われていたと思われる東大寺上院修中過去帳は、壮大な日本の歴史の一面を眼前に呈示する。東大寺創建以来の有縁の人びと206万7337人を記し、

その内容は「大伽藍本願聖武皇帝」をはじめこの国の政治、経済、宗教、芸術等の中枢にあった人たち、その他労働に従事した人たちで埋め尽されている。その数、内容において他の追隨を許さない。40分を超える読み上げを保たせるものはその内容もさることながら、巧まずして自然に考え抜かれた音楽的構成の非凡さによる。本稿はその中の459項について採譜し、その音楽的構成の検討を試みたに過ぎないので継続研究としたい。なお、採譜には故北河原公海長老の昭和36年1月の録音テープをもとに、昭和39年来の録音テープを参考にした。

参考文献・資料

- (1) 佐藤道子「東大寺修二会の構成と所作 上」(『芸能の科学』6所収)
- (2) 元興寺文化財研究所『「東大寺二月堂修二会の研究 史料篇」』
- (3) 横道万里雄 佐藤道子 解説構成「東大寺修二会観音悔過」 お水取り (日本ビクター)
- (4) 筒井寛秀氏所蔵「東大寺修二会過去帳」(写本)

- (5) 筒井寛秀氏所蔵「東大寺上院修中過去帳」（折本写真復写）
- (6) 「東大寺上院修中過去帳」（録音テープ（故北河原公海長老吹込み）
- (7) 同上録音テープ（昭和38年～58年 牧野英三収録）

〔附記〕本稿を纏めるに当り、ご教示ならびに資料の提供に与りました東大寺執事長筒井寛秀師、狭川宗玄師、上司永慶師、鷲尾普隆師、橋本聖円師、上野道善師の各位に心からの謝意を表します。

東大寺上院修中過去帳本文

「初段」 東大寺上院修中過去帳 1 大伽藍本願聖武皇帝 聖母皇太后宮 光明皇后
 行基菩薩 本願孝謙天皇 不比等右大臣 諸兄左大臣 根本良弁僧正 当院本願
 実忠和尚 10 大仏開眼導師天竺菩提僧正 供養講師隆尊律師 大仏脇士觀音願主尼信勝
 同脇士虚空藏願主尼善光 造寺知識功課人 大仏師国公麻呂 大鋸師真国 高市真磨
 鋸師柿本男玉 大工猪名部百世 20 小工益田繩手 材木知識五万一千五百九十人 役夫
 知識一百六十六万五千七十一人 金知識三十七万二千七十五人 役夫五十一万四千九百二人
 米五千石奉加利波志留志 錢一千貫奉加河俣人磨 錢一千貫車十二輛牛六頭奉加物部小
 嶋 錢一千貫奉加甲賀真束 別当良興僧都 30 良慧僧都 永興僧都 伝戒根本大唐鑑
 真和尚 鏡忍律師 法進僧都 錢一千貫鍬二百柄車二輛奉加小田根成 錢四千貫牛一頭
 奉加加陽俣真身 錢一千貫奉加田辺広浜 錢一千貫奉加板茂真釣 布二万反奉加漆部伊波
 40 稻十万束屋十間倉五十三間地五町施入夜国磨 「二段」 大炊天皇 華嚴大学頭善福
 小学頭円徳 軌耀法師 澄叡法師 興三論宗慚安大徳 満位秀忍 満位神範 50
 忠恵律師 靈義僧都 興法宗相明一僧都 明秀大徳 満位玄愷 興成実宗満位賢琳
 興俱舍宗善報 満位勝貴 大供大学性泰 大学頭勝康 60 小学頭奉基 白壁天皇
 等定僧都 永学僧都 世不羈王子 造寺官佐伯宿称今毛人 造寺長官吉備大臣 禪
 雲律師 桓武天皇 湛久君 70 井上親王 安積親王 不破内親王 崇道天皇 嵯
 峨天皇 定興律師 興真言宗根本弘法大師 海雲律師 淳和天皇 義海僧都 80 静
 雲律師 永念律師 仁明天皇 別当興雲君 寛雲律師 心慧律師 文徳天皇 真
 雅僧正 本願清和天皇 真如親王 90 良相大臣 由性法師 遍照法師 真昶大法師
 正義大威儀師 房忠大法師 慧較権威儀師 慧者専当 龍秀從儀師 峰澄從儀師
 100 祥勢大僧都 俗別当年名民部卿 玄津律師 智興已講 安軌大法師 俗別当広
 相弁 勝皎大法師 竜髭草座施入僧会置 智明法師 陽成外皇 110 俗別当行平民部卿
 慧軫律師 濟棟大僧都 香水杓施入峰隆法師 光孝天皇 弁別当保則卿 俗別当
 安倍清行 玄榮已講 基秀当講 宇多天皇 120 別当道義律師 戒詮大法師 造寺司
 史貞行 造寺司季長弁 平仁已講 豊芸已講 俗別当直宰相 水精念珠施入眼昭法師
 銅卯白銅鉗施入平海法師 醍醐根本聖宝僧正 130 本願延喜天皇 造寺官少将藤原有徳
 延惟已講 三修律師 觀賢僧正 勢範律師 三明律師 智鑑律師 造寺司昇弁
 長官時平大臣 140 觀宿僧都 俗別当中納言長谷雄 良緒律師 広瀬郡皇施入僧 五体
 板施入眼昭 俗別当良世大臣 造寺司当鞍弁 円超律師 俗別当道明大納言 貞勝律
 師 150 基遍大法師 俗別當時望弁 寛監律師 俗別当清貫中納言 基高小僧都 俗
 別当元方弁 別当寛救大法師 金泥火鉗施入恩勝 平勝擬講 俗別当公忠弁 160 朱雀
 天皇 別当明珍僧都 壹定律師 五体布施入仁山大徳 別当觀理権大僧都 延義講師
 壹十枚施入尼寿濟 別当法藏僧都 別当光智僧都 礼盤半壹施入日昭法師 170 村上
 天皇 玄妙法師 別当法縁律師 別当湛昭僧都 元稷法師 俗別当恒佐左大臣 長
 官実頼関白 基操已講 俗別当在身弁 冷泉天皇 180 玄慶僧都 別当寛朝僧正 円
 芸已講 俗別当文相弁 高明左大臣 慶修和上 平能律師 別当奄然法橋 保光右
 大弁 離世大威儀師 190 別当深覚大僧正 円融天皇 俗別当為輔中納言 別当濟信大

僧正 長官頼忠閑白 法蓮已講 白銅香水鏡施入沙弥豐勢 廉縁已講 別当平崇君
 禪徴僧都 200別当雅慶僧正 仁也律師 嚴瑠已講 瑠縁上人 花山天皇 別当清
 寿僧都 長隆律師 灯挑鉈奉定護法師 別当澄心僧都 定慧威儀師 210安瑠大威儀師
 一条天皇 俗別当輔正左中弁 別当朝晴已講 法秀已講 御帳施入安余法師 色
 紙障子奉慈果 金泥壺瓶奉定達 別当觀真律師 小別当鴻助法橋 220長範律師 貞縁
 当講 三条天皇 俗別当致方弁 別当仁海僧正 理慶和上 俗別当惟仲弁 称名札
 施入修教法師 金剛鈴奉平基法師 金泥鉢奉延生法師 230同鉢施入長海法師 濟秀威儀
 師 延正大膳 後一条天皇 後朱雀天皇 後冷泉天皇 後三条天皇 堀河天皇
 別当慶信法印 別当經範法務 240別当禪林寺永觀律師 食堂建立願主実尹大法師 隆暹
 和上 兼禪已講 兼觀擬講 別当寛助大僧正 禪定大相国蓮覚 慶満和上 覚嚴已
 講 慶昭擬講 250白河天皇 別当勝覚権僧正 円快擬講 院主嚴意已講 覚樹前権
 小僧都 阿部阿古丸 多羅多房 義曉已講 覚雅権少僧都 勝真擬講 260隆助法橋
 別当定海前大僧正 近衛天皇 範助法講 院主湛慶五師 珍海已講 別当寛信法
 務 頼樹大法師 鳥羽天皇 別当寛曉大僧正 270幡施入比立尼妙法 明海権少僧都
 美福門女院 未延大膳 慧珍前権少僧都 覚延擬講 別当顯慧法印 聖慶大法師
 宗珍大法師 覚仁威儀師 280樹朗擬講 戒朗和上 国延大膳 正近府生 敏覚法印
 別当禎喜大僧正 頼超大法師 別当定遍僧正 灯油施入賢運大法師 増運当講
 290玄助五師 造寺長官行隆左大弁 別当雅宝法印 鏡奉江本氏 後白河天皇 食堂盤
 鉢施入珍慶法師 別当俊証僧正 湯屋阿伽井屋作寛秀大德 別当勝賢前権僧正 教観擬
 講 300造寺長官定長左大弁宰相 俊朗五師 大仏脇土虚空蔵並増長天大仏師幸慶法眼
 理真権律師 顕敏大法師 弁雄法師 別当覚成大僧正 慧舟権律師 時導師半疊並疊
 六 施入覚順法橋 当寺造宮大施主將軍頼朝右大将 310円慶法師 慧経擬講 隆祐擬
 講 明慶大德 奉水精念珠尼法阿弥陀仏 別当弁曉法印 顕運大法師 勝慧五師
 御堂修理材木施入専阿弥陀仏 覚雄大法師 320珍舜法師 四職袈裟施入範真法師 恵心
 五師 内陣疊六枚施入顕俊大法師 奉宝物尼善阿弥陀仏 御堂修造勸進聖人礼阿弥陀仏
 観音御厨子造聖人法阿弥陀仏 青衣女人 別当延杲大僧正 「三段」 造東大寺勸
 進大和尚位南無阿彌陀仏 330鏡施入身長中子 寛幸擬講 定珍五師 袈裟施入尼法阿
 弥陀仏 明範大法師 顕珍大法師 慶運堂司 浄祐大德 章観法師 延真大法師
 340覚澄阿闍梨 灯油施入章円法師 奉鏡大江勢至丸 増覚権少僧都 貞玄権律師
 田畠施入弁猷法師 定勝法印 実宝法眼 寛恵戒和 貞乗権少僧都 350重喜権律師
 顕覚大法師 嚴盛権寺主 奉鏡伊賀姉子 顕範擬講 延智持経者 疊六枚施入喜珍
 大德 大勸進采西僧正 御帳錢奉加慶応大法師 善祐戒和上 360延智大德 範教五師
 観音御厨子幡華鬘並宝幢奉浄空法師 覚秀法師 延清大德 奉宝物平五子 錢奉加
 尼印阿弥陀仏 当寺造宮大施主將軍実朝右大臣 景慧大法師 田畠施入行嚴法師 370貞
 実法師 田畠施入堂童子時房 信弁権律師 叡詮大法師 造東大寺総大工宋人陳和卿善
 慈 造東大寺長官宗行権中納言 光親権中納言 寛詮大法師 心均前戒和上 灯油施
 入力阿弥陀仏 380平義時左京権大夫 後高倉法皇 尊玄権少僧都 円聡大法師 頼勝
 法師 田畠施入案阿弥陀仏 奉鏡慶深法師 奉鏡盧阿弥陀仏 尊信法眼 袈裟施入玄
 信法印 390奉鏡尼法阿弥陀仏 前別当定範法印 袈裟施入尊隆法印 玄珍法印 御張
 錢奉加尼福阿弥陀仏 四職袈裟施入興福寺別当雅縁大僧正 奉鏡清原姉子 大仏師脇土観

音並広目天大仏師快慶法眼 同脇士並多聞天大仏師定慶法眼 奉鏡成阿弥陀仏 400奉鏡身
 長姉子 信詮大法師 禪惠法師 仁円大徳 義海大法師 堯慶擬講 秀慧擬講
 顕昭五師 称名札施入定命大徳 華箱施入重慶法師 410勝運法師 聖詮法眼前別当成宝
 僧正 田園施入尼蓮阿弥陀仏 当院院主俊弁法印 重祐法師 光慧権少僧都 造寺官
 小槻宿称国宗 灯油施入貞尹法師 華嚴長吏当院院主道性法印 当院院主道澄権大僧都
 420弁盛五師 信海権律師 仁弁五師 奉宝物藤原姉子 順恵阿闍梨 運性法師
 隆玄法橋 造三面庇比丘尼信阿弥陀仏 同心合力良阿弥陀仏 奉鏡紀三寅女 430銅香水
 杓施入尼聖阿弥陀仏 奉宝物長弁法師 長尊法師 後堀河天皇 藻壁門女院 定誉権
 少都 別当頼恵法印 仁忠法師 奉水田円義法師 奉宝物薬師女 440手箱施入比丘尼
 信阿弥陀仏 木守仁徳法師 奉達陀帽子比丘尼見阿弥陀仏 別当信嚴大僧正 奉鏡信阿
 弥陀仏 祐承大法師 奉宝物禎賢法師 観音御厨子玉幡並宝幢勸進僧寛玄 奉宝物春松
 女 当院大工珍貞重 450隆実法師 別当真恵大僧正 奉錢藤原延命女 観音御厨子玉
 幡二流施入比丘尼聖阿弥陀 勝延権律師 水田施入慶源阿闍梨 光宝法印 奉鏡明阿弥
 陀仏 奉宝物賢英法師 奉宝物慶玄法師

◎ 本文旋律譜

(♩ = 96)

「第一段」* トダイジシインシウテウカーコチ
大寺上院修中過去帳

ダイガラノホ本
大伽藍

シモコダイコグコミコゴ
聖母皇大后宮光明皇

ギホサホ
行基菩薩本願

コーケンテンンフビトノウダイジン
孝謙天皇不比等右大臣

モロエノサダイジン
諸兄左大臣

コホ本ロベニソ僧
橘本願僧

トインノホ本ガンジツチウカシ
当院本願実忠和

ダイブツカイゲンノドシ
大仏開眼導師

テンシクノボダイソ正
天竺僧

11 (♩ = 72)

クヨノコジラソリッシー
供養講師隆尊律師

カシカノンノガ願
伽藍音願

12 (♩ = 96)

オナジキギコクゾーノガーンジュニゼンコー
同協士虚空蔵願主尼尊光

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

ヤクフチ知
役夫知

ロ ク マ ン ゴ セ ン シ チ ジ ウ イ ー チ ニ ン
六 万 五 千 七 十 一 人
23

コ ガ ネ ノ チ 知 シ (ヤ) サ ン ジ ウ シ チ マ ン
・金 識 三 十 七 万

ニ セ ン シ チ ウ ゴ ニ ン ヤ ク フ
二 千 七 十 五 人 ・役 夫
24

ゴ ジ ウ イ チ マ シ セ ン ク ヒ ク ニ ニ ン
五 十 一 万 四 千 九 百 二 人
25 (♩ = 40)

ヨ ー ネ ゴ セ ン ゴ 一 ガ ー セ ル
米 五 千 石 奉 加 一 ル

リ ハ シ ル ノ サ ー ク ワ ン ゼ ー ニ イ ッ セ ン ガ ン
利 波 志 留 志 一 フ ン ・ 銭 一 千 百 貫
26

ホ ガ ー セ ル カ マ ダ ノ ヒ ト マ ロ
拳 加 一 ル 河 俣 ノ 人 歴

ゼ ー ニ イ ッ セ ン ク ル マ ジ ュ ニ リ ョ ー ウ シ ロ ク ス 頭
銭 一 千 百 貫 車 十 二 両 一 牛 六 頭
27

ホ ガ ー セ ル モ ノ ノ べ ノ コ シ マ
拳 加 一 ル 物 部 小 嶋
28

ゼ ー ニ イ ッ セ ン ガ ン ホ ガ ー セ ル
・ 銭 一 千 百 貫 奉 加 一 一 人

20 (♩ = 80)

コ ガ ノ サ ネ ツ カ ベ ヲ ト リ コ ソ ゾ
甲 賀 ノ 実 一 ネ 末 カ ・ 別 当 良 興 僧 都

30

一 リー エ ソ 一 ス ヨー コー ソ ース
・ 良 工 懸 僧 都 ・ 永 興 僧 都

32 (♩ = 40)

デ カ イ ノ コ ー ボン ダイ トー ノ カン ジ ン カ シ
・ 伝 戒 ノ 根 本 大 唐 鑑 真 一 ン 和 尚

33 (♩ = 80)

キー ニン リッ シ ホー シン ソ ース
・ 鏡 忍 律 師 ・ 法 進 僧 都

35 (♩ = 40)

ゼ ニ イッ セン ガ ン ク ワ ニ ヒ ッ カ ラ
・ 銭 一 七 千 貫 鐵 二 百 柄

36

ク ル マ ニ リー ホー ガ ー セ ル オ ダ ノ ネ ナ リー
車 二 両 華 加 一 小 田 根 成

38

ゼ ニ シ セン ガ ン ウ シ イ チ ス 頭
・ 銭 二 四 千 貫 牛 一 十

39

ホ ガ ー セ ル ヤ コ ー ノ サ ー ネ ミ
拳 加 一 陽 侯 真 身

37

ゼ ニ イッ セン ガ ン ホ ガ ー セ ル タ ベ ノ ヒ ー ロ ハ マ
・ 銭 二 一 千 貫 華 加 一 田 辺 広 一 浜

38

ゼ ニ イッ セン ガ ン ガ ー セ ル イ タ モ チ ノ サ ー ネ ツ リ
・ 銭 二 一 千 貫 華 加 一 板 茂 真 釣

89 V
メノニマンダン ホ ガー セル ウルシ ベノコ ーレ ナミ
・布 武万 端 奉 加 漆 部 伊 波

40 V
イ ネ シ マ ソ ヤ ジ ッ ケ ン ク ラ ゴ シ ウ サ ン ゲ ン
・稲 十 万 束 屋 十 間 倉 五 十 三 間

「第二段」
ジ ー ゴ チ ー セ ム ー セ ル ヤ ノ ク ー ニ マ ロ
・地 五 町 施 入 夜 国 ー 尼 磨

41 (♩ = 88) 42 V
オ イ ノ ー ー テ ン ノ ー ケ ゴ ン ノ ダイガクトーゼンブ(?)
・大 炊 天 皇 ・摩 訶 大 学 頭 善 福

43 44 45 V
ダイガクトーシュンブク ショーガクトーエ ンドク キーヨー ホッシ
・大 学 頭 春 福 ・小 学 頭 円 德 ・軌 耀 法 師

46 47 V
チーエ ホッシ サン ロン シー ラ コーゼルーザンナン
・澄 觀 法 師 ・三 論 宗 興 慚 安

48 49 50 V
ダイトク マンニノシニ マンニノシンパン チウエリッシ
・大 德 ・満 位 秀 忍 ・満 位 神 範 ・忠 懸 律 師

51 52 V
リョーギン ソーズ ホッソーシュラ コーゼルー ー シーイチソーズ
・靈 義 僧 都 ・法 相 宗 興 明 一 僧 都

53 54 V
メイ シー ダ イ ト ク マ ン ニ ノ ゲ ン ガ イ
・明 秀 大 伊 德 克 満 位 ノ 玄 愷

55
ジョーグツ シー ラ コーゼルー マンニノゲンリン
・成 実 宗 興 満 位 賢 琳

56 57 V
クシャ シー ラ コーゼルー ー センポー マ ン ニ ショー キ
・俱 舍 宗 興 善 報 ・満 位 勝 貴

58 59 V
ダイク ノ ダ イガクトー ショー タ イ ダイガクトーショーコー
・大 供 大 学 頭 性 泰 ・大 学 頭 勝 康

60 61 62 V
ショ ガクトー フ ッ キ ハッ ペ キ テン ノー トーショーソーズ
・小 学 頭 奉 基 ・白 壁 天 皇 ・等 定 僧 都

63 64 65 V
ヨウ ガク ソーズ セブキノ オー ジー ソー ジノツ カサ
・永 学 僧 都 ・世 不 羈 王 子 ・造 寺 司

サ エ キ ノ ス ク ー ネ イ マ エ ビー ース
・佐 伯 宿 弥 今 毛 人

66 (♩ = 100) 67 V
ソー ジノチー ガン キビ ノ ダ イジ ンゼンヌン リッシ
・造 寺 長 官 吉 備 大 臣 ・禪 雲 律 師

68 (♩ = 36) 69 V
カ ンム テ ー ン ノー カ ン キウ キ ー ミ
・桓 武 天 皇 ・湛 久 君

70 71 V
イガミノ シ ン ノー ヤ ス ズ ミ ノ シ ンノー
・井 上 親 王 ・安 積 親 王

72 73 V
フ ハ ノ ナ イ シ ン ノー シュ ドー テ ー ン ノー
・不 破 内 親 王 ・崇 道 天 皇

74 (♩ = 92) 75 76 V
ー サ ガ ノテンノーショーコーリッシ シンゴン シー ラ コーゼルー
・嵯 峨 天 皇 ・定 興 律 師 ・真 言 宗 興

コンボンコーボーダイシ カウンリッ シ シュナテンノ
 根本弘法大師・海雲律師・淳和天皇

79 80 81
 ーギカイソーズ シーウンリッ シ ヨーネンリッ シ
 ・義海僧都・静雲律師・永念律師

82 83 84 85
 ニンミョーテンノベットーコーウンキミ カンヌンソーズ シンネリッ シ
 ・仁明天皇・別当興雲君・寛雲僧都・心懸律師

86 (♩ = 96) 87
 モンドクテ ンノー シンガソ ー シー
 ・文徳天皇・真雅僧正

88 (♩ = 92) 89
 ホンガソ セイワテンノ シンニシノ
 ・本願清和天皇・真如親王

90 91 92
 ヨシオノダイジン ユシーホッ シ ヘンジョーホッ シ
 ・良相大臣・由性法師・遍照法師

93 94
 シンジョーダイホッ シ シーギダーイイギシ
 ・真智大法師・正義大威儀師

95 96
 ボーチューダイホッ シ エカクゴ ンイギシ
 ・房忠大法師・懸較権威儀師

97 98 99
 エシャセンドー チョーシュ シギシブ チョーシュギシ
 ・懸者尊当・龍秀從儀師・峰澄從儀師

100 101 (♩ = 60)
 シーゼーダイソーズ ソクベッ トー ー シナノ
 ・祥勢大僧都・俗別當年一シナノ

102 (♩ = 108) 103
 ミンブ キョー ゲンシンリッ シ チコーイ コー
 ・民部卿・玄津律師・智興已講

104 105
 アンキ ダイホッ シ ソクベッ トー ヒロスケノ ベン
 ・安軌大法師・俗別当広相弁

106 107
 シーコーダイホッ シ ユーノヒゲノソーサ
 ・勝咬大法師・龍髯草座

108
 セユセルソーエキ ー チミョーホッ シ
 ・施入僧會貴・智明法師

109 110
 ヨーゼーテンノソクベッ トー ユキヒラノミン フキョー
 ・陽成天皇・俗別当行平民部卿

111 112
 ーエテン リッ シ サイトーダイソーズ
 ・懸珍律師・済棟大僧都

113
 コーズイノヒサゴセ ユーセル フリュホッ シ
 ・香水杓施入峰隆法師

114 115
 コーコーテンノ ベンノベッ トー ヤスノリノ キョー
 ・光孝天皇・弁別当保則卿

116 (♩ = 72)
 ソクベッ トー アーベノキヨユキ
 ・俗別当安一倍清行

117 118
 ゲンニョーイコー ー キョーニョー ー ゴー
 ・玄宗已講・基秀当講

119 120 121

ウダノテンノベツトードギリッシカイセンダイホッシ
・宇多天皇・別当道義律師・戒詮大法師

122 123

ソーシノツカサ スワノサダユキソーシノツカサ
・造寺司 史典行・造寺司

124 125

スエナガノベンヒョーニイコーフゲイイコー
・季長弁・平仁已講・豊芸已講

126 (♩ = 116) 127

ソクベツトナオシノサイソスイショーノネンジュセニセルゲンショーホッシ
・俗別当直宰相・水精念珠施入 眼昭法師

128

アカガネノインクドノハーシセニセルヒョーカイホッシ
・銅印白銅鉗 施入 平海法師

129 (♩ = 48) 130 (♩ = 108)

ダイゴノコンボンショーホーソージョー
・醍醐根本聖宝僧 正

131

ホンガンエンギノテンノソーシノツカサ
・本願延喜天皇・造寺司

132

ショーショーフジワラノアリホトエンユイイコー
・少将藤原有穂・延唯已講

133 134 135 136

サンジュリッシカンゲンソージョーセイバンリッシサンミョーリッシ
・三修律師・観賢僧正・勢範律師・三明律師

137 138

チガイリッシソーシノツカサノボリノベン
・智鑑律師・造寺司 昇 弁

139 (♩ = 120) 140

チョーガンシヘイノオトドカンシュクソーズ
・長官時平大臣・観宿僧 都

141 142

ソクベツトーチューナゴンハセオウジョリッシ
・俗別当中納言 長谷雄・良緒律師

143 (V) 144

ヒロセコオリノハタセニユーノソ
・広瀬郡 島 施入 僧

145 146

ゴタイノイータセニユーセルゲンジョー
・五体板 施入 眼昭

147 148

マサモトノベンエンチョーリッシソクベツトミチアキラノ
・当轉・弁円超律師・俗別当道明

149 150

ダイナゴンチョーショーリッシキヘンダイホッシ
・大納言・典勝律師・基偏大法師

151 152

ソクベツトートキモチノベンカンガンリッシ
・俗別当时望 弁・寛監律師

153 154

ソクベツトーキョツラノチューナゴンキコージョーソーズ
・俗別当清實 中納言・基高小僧 都

155 156

ソクベツトモトカタノベンベツトカンキョーダイホッシ
・俗別当元方 弁・別当寛教大法師

157 158
コン デイ ノ ヒ バシセ ニューセ ル オン ショーヒョーショー ギ コー
・金 泥 ノ 鉈 施 入 恩 勝・平 勝 擬 講

159 160
ソク ベツ トー キン タダ ノ ベン シュ シャク ノ テン ノー
・俗 別 当 公 忠 弁・朱 雀 天 皇

161 162
ベツ トー ミョー チン ソー ス イ チ ジョー リッ シ
・別 当 明 珍 僧 都・巻 定 律 師

163
ゴ タイ ノ ヌ ノ セ ニューセ ル ニン セン ダイ トク
・五 体 布 施 入 仁 山 大 徳

164 165
ベツ トー カン リ ゴン ダイ ソー ス エン ギ コー ジ
・別 当 親 理 権 大 僧 都・延 義 講 師

166
タ タ ミ シュ マイ セ ニューセ ル ニ シュ セイ
・疊 十 枚 施 入 尼 壽 濟

167 168
ベツ トー ホー ソー ソー ス ベツ トー コー チ ソー ス
・別 当 法 蔵 僧 都・別 当 光 智 僧 都

169
ライ ハン ノ ハン ジョーセ ニューセ ル ニッショー ホッ シ
・礼 盤 半 疊 施 入 日 昭 法 師

170 171 172
ム ラ カ ミ ノ テンノーゲンミョーホッ シ ベツ トー ホー^(ニ)ネン リッ シ
・村 上 天 皇・玄 妙 法 師・別 当 法 縁 律 師

173 174
ベツ トー タン ジョー ソー ス ガン ゴー ホッ シ
・別 当 湛 昭 僧 都・元 覺 法 師

175 176
ソク ベツ トー ツネ スケノ サ ダイ ジン チョーガン サネ ヨリ
・俗 別 当 恒 佐 左 大 臣・長 官 実 頼

177 178
ノ カン バク キ ソー イ コー ソク ベツ トー アリミ ノーベン
・関 白・基 操 已 講・俗 別 当 在 身 弁

179 180 181
レン セイ ノ テンノー ゲン キョーソー ス ベツ トー カン ジョーソー ジョー
・冷 泉 天 皇・玄 慶 僧 都・別 当 寛 朝 僧 正

182 183
エン ゲイ イ コー ソク ベツ トー フン スケノ ベン
・円 芸 已 講・俗 別 当 文 相 弁

184 185
タ カ ア キ ラ ノ サ ダイ ジン キョー シュ ワ ジョー
・高 明 左 大 臣・慶 秀 和 上

186 187
ヒョー ノー リッ シ ベツ トー チョー ネン ホー キョー
・平 能 律 師・別 当 齊 然 法 橋

188 189
ヤ ス ミ ツ ノ ウ ダイ ベン リ セイ ダイ イ ギ シ
・保 光 右 大 弁・離 世 大 威 儀 師

190 191
ベツ トー ジン カ ク ダイ ソー ジョーエン ユーノ テン ノー
・別 当 深 寛 大 僧 正・円 融 天 皇

192
ソク ベツ トー タメ ス ケノ チュー ナ ゴン
・俗 別 当 為 輔 中 納 言

193 194
ベツ トー サイ シン ダイ ソー ジョー チョー ガン ヨリ タダノ カン バク
・別 当 濟 信 大 僧 正・長 官 実 頼 忠 関 白

195 196
ホーレンイ コーピクドノ コーズイノ サラ
・法 蓮 已 講・白 銅 香 水 錠 ラ

197
セ ニュー セ ル シャ ミ フ ゼイ レン ネンギ コー
・施 入 セ ル 沙 弥 豊 勢・廉 縁 擬 講

198 199
ベッ トー ヒョー ソー キ ミ ゼン チョー ソー ズ
・別 当 平 衆 君 ミ・禪 徴 僧 都

200 201 202
ベッ トー ガ ケー ソー ショー ニン ヤ リッ シ ゲン チョー イー コー
・別 当 雅 慶 僧 正・仁 也 律 師・嚴 瑠 已 講

203 204 205
チョー ネン ショー ニン カ サノ テン ノー ベッ トー セイ シュ ソー ズ
・瑠 縁 上 人・花 山 天 皇・別 当 清 寿 僧 都

206 207
チョー リー リッ シ ト モシビ カカ グル ハ シ タ テマ ツ レ ル
・長 隆 律 師・燈 鉢 奉

208
ジョー ゴ ホッ シ ベッ トー チョー シン ソー ズ
・定 護 法 師・別 当 澄 心 僧 都

209 210 211
ジョー エ イギシ アン チョー ダイ イギシ イチ ショー ノ テン ノー
・定 慧 威 儀 師・安 瑠 大 威 儀 師・一 条 天 皇

212
ソ ク ベッ トー ス ケ マ サ ノ サ 左 チュ ベン
・俗 別 当 輔 正 左 中 弁

213 214
ベッ トー チョー セー イ コー ホッ シュ イ コー
・別 当 朝 晴 已 講・法 秀 已 講

215
ミ チョー セ ムー セ ル アン ヨ ホッ シ
・御 帳 施 入 セ ル 安 余 法 師

216
シ キ シ ノ ショー ジー タ テマ ツ レ ル ジ カ ホッ シ
・色 紙 紙 障 子 奉 慈 果 法 師

217
コン テイ ノ ツ ボ カ メ タ テマ ツ レ ル ショー タツ
・金 泥 壺 瓶 奉 定 遠

218 219
ベッ トー カン シン リッ シ ショー ベッ トー コー ジョー ホッ シ
・別 当 観 真 律 師・小 別 当 鴻 助 法 橋

220 221 222
チョー バン リッ シ ショー ネン トー ゴー サン ショー ノ テン ノー
・長 範 律 師・貞 縁 当 講・三 条 天 皇

223 (♩ = 132) 224
ソ ク ベッ トー ム ネ カ タ ノー ベン ベッ トー ニン カイ ソー ショー
・俗 別 当 敦 方 弁・別 当 仁 海 僧 正

225 226
リ キー ワ ショー ソ ク ベッ トー コ レ ナ カ ノー ベン
・理 慶 和 上・俗 別 当 惟 仲 カ ノー 弁

227
ジョー ショー ノ フ ダ セ ニュー セ ル ショー エイ ホッ シ
・称 名 札 施 入 セ ル 修 験 法 師

228
コン ゴー リョー タ テマ ツ レ ル ヒョー キ ホッ シ
・金 剛 鈴 奉 平 基 法 師

229
コン テイ ノ ハ チ タ テマ ツ レ ル エン セ イ ホッ シ
・金 泥 鉢 奉 延 生 法 師

230
オナジキ ハ チ セ ムー セ ル ヨー カイ ホツ シ
・同 鉢 施 入 長 海 法 師

231
サイ シュー イ ギ シ ノ フ マ サ ノ ダイ ゼン
・済 秀 威 儀 師 延 正 大 膳

232
ゴ イ チ ショー ノ テー ン ノー
・後 一 条 天 皇

233 (♩ = 48)
ゴ イ チ ショー ノ テー ン ノー
・後 一 条 天 皇

234
ゴ シュ シヤ ク ノ テー ン ノー
・後 朱 雀 天 皇

235
ゴ レ ン ゼ イ ノ テー ン ノー
・後 冷 泉 天 皇

236
ゴ サ ン ショー ノ テー ン ノー
・後 三 条 天 皇

237 (♩ = 128)
ホリ カワ ノ テン ノー ベツ トー ケイ シン ホツ シ
・堀 河 天 皇 別 当 慶 信 法 師

238
ベツ トー ケイ バン ホー ム ベツ トー ゼン リン ジノヨー カン リッ シ
・別 当 經 範 法 務 別 当 禪 林 寺 永 親 律 師

239
ジ キ ドー コン リューノ ガン シュ ジツ イン ダイ ホツ シ
・食 堂 建 立 願 主 実 尹 大 法 師

240
リュウ セン ワ ジョー ケン ゼン イ コー ケン ガン ギ コー
・隆 運 和 上 兼 禪 已 講 兼 觀 擬 講

245
ベツ トー カン ジョ ダイ ソー ショー ゼン ショー ダイ ショー コク レン カク
・別 当 寛 助 大 僧 正 禪 定 大 相 国 運 覺

246
キョー マン ワ ショー カク ゲン イ コー キョー ショー ギ コー
・慶 満 和 上 覺 嚴 已 講 慶 昭 擬 講

247
シラ カワ ノ テン ノー ベツ トー ショー カク ゴン ソー ショー
・白 河 天 皇 別 当 勝 覺 權 僧 正

248
エン カイ ギ コー イ ン シュ ゲン ニ イ コー
・円 快 擬 講 院 主 嚴 意 已 講

249
カク ジュ サ キ ノ ゴン ショー ソー ス
・覺 樹 前 權 少 僧 都

250
ア ベー ノ ア コ マ ル タ ラ タ ホー
・安 倍 阿 古 丸 多 羅 多 房

251
ギ キョー イ コー カク ガ ゴン ショー ソー ス ショー シン ギ コー
・義 曉 已 講 覺 雅 權 少 僧 都 勝 真 擬 講

252
ル ショー ホツ キョー ベツ トー ショー カイ サ キ ノ ダイ ソー ショー
・隆 助 法 橋 別 当 定 海 前 大 僧 正

253
コン ネ ノ テン ノー ハン ショー ホツ コー イン シュ タン ケイ コー
・近 衛 天 皇 範 助 法 講 院 主 湛 慶 五 師

254
チン カイ イ コー ベツ トー カン シン ホー ム ライ シュ ダイ ホツ シ
・珍 海 已 講 別 当 寛 信 法 務 賴 樹 大 法 師

268 269
ト パ ノ テン ノー ベツ トー カン キョー ダイ ソー ショー
・鳥 羽 天 皇 ・別 当 寛 暁 大 僧 正

270
ハ タ セ ニュー セ ル ビクニ ショー ホー
・幡 施 入 比丘尼 沙 法

271 272
メイ カイ ゴン ショー ソー ズ ビ フク モン ノ ヨ イン
・明 海 権 少 僧 都 ・美 福 門 ノ 女 院

273 274
ス エ ノ フ ノ ダイ セン エ チン サキ ノ ゴン ショー ソー ズ
・末 延 大 膳 ・應 珍 前 権 少 僧 都

275 276
カ ク ネ ギ コー ベツ トー ケン ネ ホー イン
・寛 延 擬 講 ・別 当 顯 延 法 印

277 278
ショー ケイ ダイ ホツ シ ソー チン ダイ ホツ シ
・聖 慶 大 法 師 ・宗 珍 大 法 師

279 280 281
カク ニン イ ギ シ ジュ ロー ギ コー カイ ロー ワー ショー
・寛 仁 威 儀 師 ・樹 朗 擬 講 ・戒 朗 和 上

282 283 (♩ = 72) 284 (♩ = 144)
ク ニ ノ フ ノ ダイ セン マサチカノフ ショー ビンカクホーイン
・国 延 大 膳 ・正 近 府 ・生 敬 覚 法 印

285 286
ベツ トー ショー キー ダイ ソー ショー ライ ショー ダイ ホツ シ
・別 当 損 喜 大 僧 正 ・頼 超 大 法 師

287 288
ベツ トー ショー ヘン ソー ショー トー ユ セ ニューセル ケン ウン ダイ ホツ シ
・別 当 定 遍 僧 上 ・燈 油 施 入 賢 運 大 法 師

289 290 291
ソー ウン トー コー ゲン ショー ゴ シ ソー シノ チョー ガン
増 運 当 講 玄 助 五 師 遣 寺 長 官

292
ユ キ タ カ ノ サ ダイ ベン ベツ トー ガ ホー ホー イン
行 隆 左 大 弁 別 当 雅 室 法 印

293
カ ガ ミ タ テ マ ツ レ ル エ ノ モ ト ノ ウ シ
鏡 奉 泰 瑪 江 本 氏 吉

294 295
ゴ シ ラ カ ワ ノ テン ノー ジ キ ドー ノ パン バチセ ニューセル
後 白 河 天 皇 食 堂 盤 鉢 施 入

296
チン ケイ ホツ シ ベツ トー シン ショー ソー ショー
珍 慶 法 師 別 当 俊 證 僧 正

297
ユ ヤ ア カ イ ノ ヤ ツ ク レ ル カン ショー ダイ トク
湯 屋 阿 伽 井 屋 作 寛 秀 大 德

298 299
ベツ トー ショー ケン サキ ノ ゴン ソー ショー キョー カン ギ コー
別 当 勝 賢 前 権 僧 正 教 観 擬 講

300
ソー シノ チョーカン サダナガノ サ ダイ ベン ノ サイ ショー
遣 寺 長 官 定 長 左 大 弁 幸 相

301 302
シュンロ ゴーシ ダイ フツノ キョージ コクソー ナラビニ ソー チョーテン ノ
俊 朗 五 師 大 仏 協 士 虚空蔵 並 増 長 天

303
ダイ フッ シ コー ケイ ホー ゲン リ シン ゴン リッ シ
大 仏 師 幸 慶 法 眼 理 真 權 律 師

304 305
ケン ビン ダイ ホツ シ ベン ノー ホツ シ
・顯 敬 大 法 師 ・弁 雄 法 師

306 307
ベッ トー カク セー ダイ ソー ジョー エ シュー ゴン リッ シ
・別 当 覚 成 大 僧 正 ・懸 舟 權 律 師

308
ジ ドー シ ノ ハン ジョー ナ ラ ビ ニ タ タ ミ
・時 導 師 半 疊 並 疊

ロ ク マ イ セ ニュー セ ル カク シュン ホ ツ キョー
六 枚 施 入 セ ル 覚 順 法 法 橋

309 (♩ = 52)
トー シ ソー エイ ノ ダイ セ シュ ジョー グン ヨリ トモノ ウダーイ ショー
・当 寺 造 営 大 施 主 将 軍 頼 朝 右 大 将

310 (♩ = 108) 311 312
エン ケイ ホツ シ エ ケイ キ コー ムー ユー キ コー
・円 慶 法 師 ・懸 經 擬 講 ・隆 祐 擬 講

313 314
ミョー ケイ ダイ トク スイ ショー ノ ネン シュー タ テ マ ツ レ ル
・明 慶 大 徳 ・水 晶 念 珠 奉

315
ニ ホー ア ミ ダ フ ベッ トー ベン 地ー ホー イン
尼 法 阿 弥 陀 仏 ・別 当 弁 曉 法 印

316 317
ケン ウン ダイ ホツ シ ショー エ ゴ シ
・顯 運 大 法 師 ・勝 懸 五 師

318
ミ ドー シ ノ サイ モク セ ニュー セ ル セン アミ ダ フ
・御 堂 修 理 材 木 施 入 尊 阿 弥 陀 仏

319 (♩ = 144) 320
カク オー ダイ ホツ シ チン シュン ホツ シ
・覚 雄 大 法 師 ・珍 舜 興 法 師

321
シン キ ノ ケ サ セ ニュー セ ル ハン シン ホツ シ
・四 藏 毀 法 施 入 範 真 法 師

322 323
エ ジン ゴ シ ナイ ジン ノ タ タ ミ ロク マイ
・恵 深 五 師 ・内 陣 ノ 量 六 枚

セ ニュー セ ル ケン シュン ダイ ホツ シ
施 入 顯 俊 大 法 師

324
ホ モー タ テ マ ツ レ ル ニ セ ン アミ ダ フ
・宝 物 奉 尼 善 阿 弥 陀 仏

325
ミ ドー シ ソー ノ カン ジン ノ ショー ニン ラ イ ア ミ ダ フ
・御 堂 修 造 勤 進 ノ 聖 人 礼 阿 弥 陀 仏

326
カン ノン ノ ミ ス シ ツ ク レ ル ショー ニン ホー アミ ダ フ
・観 音 ノ 御 子 造 聖 人 法 阿 弥 陀 仏

327 (♩ = 30) 328
ミョー エ ノ ニョー ニン ベッ トー
・青 衣 ノ 女 人 ・別 当

「第三段」
エン ゴー ダ イ ソー
・延 果 大 僧 正

329 (♩ = 184)
ソー トー ダイ ジ ノ カン ジン ダイ カ ショー イ ナ ム アミ ダ フ
・造 東 大 寺 勤 進 大 和 尚 位 南 無 阿 弥 陀 仏

330 331
カガミ セニューセル ミナ ガノ ナノコ カン コー ギー コー
・鏡 施入 身長 中 子・寛 幸 擬 講

332 333
ジョーテン ゴ シ ケサ セニューセル ニホー アミダ フ
・定 珍 五 師・張 婆 施入 尼法 阿弥 陀 仏

334 335 336
ミョーバン ダイ ホッ シ ケン チン ダイ ホッ シ キョーウンドー ツカサ
・明 範 大 法 師・顯 珍 大 法 師・慶 運 堂 司

337 338 339
ジョーユーー ダイ トク ショー カン ホッ シ エン シン ダイ ホッ シ
・淨 祐 大 德・章 觀 法 師・延 真 大 法 師

340 341
カク チョー ア ジャリ トーユ セニューセル ショーエン ホッ シ
・覚 澄 阿 闍 梨・燈 油 施入 章 円 法 師

342 v343
カガミタマツ レルオー エノ セシマ ルソー カク ゴン ショーソーズ
・鏡 華 大 江 勢 至 丸・増 覚 權 少 僧 都

344 345
チョーゲンゴン リッ シ デン バ タセ ニューセル ペンユー ホッ シ
・貞 玄 權 律 師・田 島 施入 弁 猷 法 師

346 347 348
ジョーショーホー イン ジッ ポー ホー ゲン カン ネ カイワ ジョー
・定 勝 法 印・実 宝 法 眼・寛 惠 戒 和 上

349 350 351
チョージョーゴン ショーソーズ チョー キ ゴン リッ シ ケンカクダイホッ シ
・貞 衆 權 少 僧 都・重 喜 權 律 師・顯 覺 大 法 師

352 353
ゲン セイ ゴン ノ テラ ジュ カガミタマツ レル イガノ アネノコ
・嚴 盛 權 寺 主・鏡 華 伊 賀 姉 子

354 355 v356
ケン バン ギ コー エン チ シキョーシャタ タ ミ ロ ク マイ
・顯 範 擬 講・延 智 持 經 者・疊 ミ 六 枚

357
セニューセル セン チン ダイ トク ダイ カン ジン ヨー サイ ソー ジョー
施入 善 珍 大 德・大 勤 進 衆 西 僧 正

358
ミ チョー ノ ゼ ニ ホー ガセル ケイ オー ダイ ホッ シ
・御 帳 錢 奉 加 慶 應 大 法 師

359 360 v361
セン ユー カイワジョー エン チ ダイ ト ク ハン キョーゴ シ
・善 祐 戒 和 上・延 智 大 德・範 教 五 師

362
カン ノン ノ ミズ シ ノ ハ タ ケ マ シ ナ ラ ビ ニ
・觀 音 御 厨 子 幡 華 盤 並

363
ホー ドー タテマ ツレル ジョークー ホッ シ カク シューホッ シ
・宝 幢 奉 淨 空 法 師・覺 秀 法 師

364 365
エン セイ ダイ トク ホー モ タテマ ツレル タイラ ノゴ シ
・延 清 大 德・宝 物 奉 平 五 子

366 v
ゼ ニ ホー ガセル ニ イ ーン ア ミ ダ フ
・錢 奉 加 尼 印 阿 弥 陀 仏

367
トー ジ ソー エイ ノ ダイ セシュショーゲン サネト モノ ウダイジン
・当 寺 造 營 大 施 主 將 軍 実 朝 右 大 臣

368 369
ケイ エ ダイ ホッ シ デン バタセ ニューセル キョーゲン ホッ シ
・景 賢 大 法 師・田 島 施入 行 嚴 法 師

370 371
 チョージツ ホツ シ デン バタ セ ニューセ ル ドー ドー ジ トキフサ
 ・貞 実 法 師 ・田 晶 施 入 堂 童子 時 房

372 373
 シン ベン ゴン リッ シ エイ セン ダイ ホツ シ
 ・信 井 権 律 師 ・畠 詮 大 法 師

374
 ソー トー ダイ ジ ソー ダイ ク ソー ジン チン ノ ワ ケイ セン ジ
 ・造 東 大 寺 惣 大 工 宋 人 陳 和 興 善 慈

375
 ソー トー ダイ ジ ノ チョー カン ム ネユ キ ノ ゴン チュー ナ ゴン
 ・造 東 大 寺 長 官 宗 行 権 中 納 言

376 377
 ミツ チカ ノ ゴン チュー ナ ゴン カン セン ダイ ホツ シ
 ・光 親 権 中 納 言 ・寛 詮 大 法 師

378 379
 シン キン サ キ ノ カイ ワ ジョー トー ユ セ ニューセル リキ アミダ ブ
 ・心 均 前 戒 和 上 ・燈 油 施 入 力 阿 弥 陀 仏

380
 タイ ラ ノ ヨ シ ト キ サ キョー ノ ゴン ダイ ブ
 ・平 義 時 左 京 ノ 権 大 夫

381 382
 ゴ タ カ ク ラ ノ ホー ノー ソン ゲン ゴン ジョー ソー ズ
 ・後 高 倉 法 皇 ・尊 玄 権 少 僧 都

383 384
 エン ソー ダイ ホツ シ ライ ショー ホツ シ
 ・円 紹 大 法 師 ・頼 勝 法 師

385 386
 デン バタ セ ニューセ ル ラク アミダ ブ カガ ミ タ テ マ ツ レ ル
 ・田 晶 施 入 楽 阿 弥 陀 仏 ・鏡 泰

387
 ケイ ジン ホツ シ カガ ミ タ テ マ ツ レ ル アミダ ブ
 慶 深 法 師 鏡 泰 壇 阿 弥 陀 仏

388 389
 シン シン ホー ゲン ケサセ ニューセル ガ シン シン ホー イン
 尊 信 法 眼 袈 裟 施 入 玄 信 法 印

390
 カガ ミ タ テ マ ツ レ ル ニ ホー アミダ ブ
 鏡 泰 尼 法 阿 弥 陀 仏

391 392
 サ キ ノ ペットー ジョーバン ホー イン ケサセ ニューセル ソンリョーホーイン
 前 別 当 定 絶 法 印 袈 裟 施 入 尊 隆 法 印

393 394
 ゲン チン ホー イン ミ チョーノ セニホ ガセル ニフク アミダ ブ
 玄 珍 法 印 御 張 銭 泰 加 尼 福 阿 弥 陀 仏

395
 シシキノ ケサセ ニューセル コー フクジ ノ ペットー ガエンダイ
 四 職 袈 裟 施 入 興 福 寺 別 当 雅 縁 大

396
 ソー ジョー カガミタ テ マ ツ レ ル キヨ ハ ラ ノ アネ ノ コ子
 僧 正 鏡 泰 清 原 師 子

397
 ダイ ブ ツ ノ キョー ジ カン ノンナ ラ ビ ニ コーモク テン ノ
 大 仏 脇 士 親 音 並 広 目 天

398
 ダイ ブ ツ シ カイ ケイ ホー ゲン オナジ キョー ジ
 大 仏 師 快 慶 法 眼 同 脇 士

ナ ラ ビ ニ タ モン テン ノ ダイ ブ ツ シ ジョー ケイ ホー ゲン
 並 多 聞 天 大 仏 師 定 慶 法 眼

399
ガ ガ ミ タ テ マ ツ レ ル ジョー ア ミ ダ フ 仏
・鏡 華 成 阿 弥 陀 仏

400
カ ガ ミ タ テ マ ツ レ ル ミ ナ ガ ノ ア ネ ノ コ 子
・鏡 華 身 長 師 阿 彌 陀 子

401
シン セン ダイ ホツ シ ゼン ネ ホツ シ ニン エン ダイ トク
・信 詮 大 法 師 ・禪 惠 法 師 ・仁 圓 大 德

402
ギ カ イ ダイ ホツ シ ギョー ケイ ギ コー シュー エ ギ コー
・義 海 大 法 師 ・堯 慶 擬 講 ・秀 懸 擬 講

403
ケン ショーゴ シ ショーノフダ セニール ジョーミダイトク
・顯 昭 五 師 ・稱 名 札 施 入 定 命 大 德

404
ハナバコセ ニー セ ル チョーケイ ホツ シ ショーウン ホツ シ
・華 箱 施 入 重 慶 法 師 ・勝 運 法 師

405
ショー セン ホー ゲン サ キ ノ ベツ トウ ゼイ ホー ソー ジョー
・聖 詮 法 眼 前 別 当 成 宝 僧 正

406
デン ノ ン セ ニー セ ル ニ レ ン ア ミ ダ フ 仏
・田 園 施 入 尼 蓮 阿 彌 陀 仏

407
トー イン ノ イン ジュ シュンベン ホー イン チョーユー ホツ シ
・当 院 院 主 俊 弁 法 印 ・重 祐 法 師

408
コー エ ゴン ショーソース ソー ジ ノ ツカ サ オスキノスクネ クニムネ
・光 懸 権 少 僧 都 ・造 寺 官 小 喚 宿 称 國 宗

417
ト ユ セ ニュー セ ル ジョー イン ホツ シ
・燈 油 施 入 真 尹 法 師

418
ケゴン ノ チョーリ トー イン ノ イン ジュドー ショーホー イン
・華 嚴 長 吏 当 院 院 主 道 性 法 印

419
トー イン ノ イン ジュドー チョー ゴン ダイ ソー ス
・当 院 院 主 道 澄 権 大 僧 都

420
ベン セイ ゴ シ シン カイ ゴン リッ シ ニン ベン ゴ シ
・辯 盛 五 師 ・信 海 権 律 師 ・仁 弁 五 師

421
ホー モ ト テ マ ツ レ ル フ ジ ワ ラ ノ ア ネ ノ コ 子
・宝 物 華 施 入 藤 原 阿 彌 陀 子

422
ジュン ネ ア ジャリウン ショーホツ シ リューゲン ホー キョー
・順 惠 阿 闍 梨 ・運 性 法 師 ・隆 玄 法 橋

423
サンメン ノ ヒ サ シ ツ ク レ ル ビク ニシン アミダ フ 仏
・三 面 庇 造 克 比 丘 尼 信 阿 彌 陀 仏

424
ドー シン コー リョク リョー ア ミ ダ フ 仏
・同 心 合 力 良 阿 彌 陀 仏

425
カ ガ ミ タ テ マ ツ レ ル キ ノ ミ ト ラ ニョ
・鏡 華 施 入 記 三 實 女

426
アカガネノ コー スイ ノ ヒ サ ゴ セニール ニョーア ミ ダ フ
・鋼 香 水 杓 施 入 尼 聖 阿 彌 陀 仏

431 432 V
ホーモ タテマツレル チョーベン ホッ シ チョーソーン ホッ シ
・宝 物 奉 長 弁 法 師 ・長 尊 法 師

433 434
ゴー ホリ カワ ノ テン ノー サツ ベキ モン ノ イン
・後 掘 河 天 皇 ・滿 壁 門 ノ 女 院

435 436
ジョーヨ ゴン ショーソー ス ペットー ライ エ ホー イン
・定 養 権 少 都 ・別 当 頼 恵 法 印

437 438
ニン チュー ホッ シ スイ デン タテマツレル エン ギ ホッ シ
・仁 忠 法 師 ・水 田 奉 園 鏡 法 師

439 440 V
ホーモ タテマツレル ヤクシニ テバコセ ニューセルビク ニシン アミダブ
・宝 物 奉 薬 師女・手箱 施入 比丘 尼 信 阿 弥 陀 仏

441 V 442
コ モリ ノ ニン トク ホッ シ ダ ッ タ ン ノ ポー シ
・木 守 仁 徳 法 師 ・達 陀 帽 子

タテマツレル ビク ニ ケン ア ミ ダ ブ
奉 比 丘 尼 見 阿 弥 陀 仏

443 444
ペットー シン ゲン ダイ ソー ジョーカガ ミタテマツレル シン アミダブ
・別 当 信 嚴 大 僧 正 ・鏡 奉 信 阿 弥 陀 仏

445 446
ユージョーダイ ホッ シ ホーモ タテマツレル チョーケン ホッ シ
・祐 承 大 法 師 ・宝 物 奉 禪 賢 法 師

447
カン ノン ノ ミズ シノ タマノ ハタナラ ビニ ホー ドー ノ
・観 音 御 厨 子 玉 幡 並 宝 幢

V 448
カン ジン ノ ソー カン ゲン ホーモ タテマツレル ハル マツ ジョ
勸 進 僧 寛 玄 ・宝 物 奉 春 松 女

449
トー イン ノ ダイ ク チン ノ サ ダ シ ゲ
・当 院 大 工 珍 貞 重

450 V 451
リュウ ジツ ホッ シー ペットー シン ネ ダイ ソー ジョー
・隆 実 ツ 法 師 ・別 当 真 恵 大 僧 正

452 453
ゼニタ テマツレル フジ ワラノ エン メイ ジョ カン ノン ノ
・銭 奉 藤 原 延 命 女 ・観 音

ミズ シノ タマノ ハタ ニ リューセ ニュー セル
御 厨 子 玉 幡 二 流 施 入

454 V
ビク ニ ショーア ミ ダ ブ ショーエン ゴン リッ シ スイテン
比 丘 尼 聖 阿 弥 陀 仏 ・勝 延 權 律 師 水 田

455
セ ニューセ ル キョーゲン ア ジャ リ コー ホー ホー イン
施 入 慶 源 阿 闍 梨 ・光 宝 法 印

457
カガ ミ タテマツレル ミー ア ミ ダ ブ
鏡 奉 明 阿 弥 陀 仏

458
ホーモ タテマツレル ケン エイ ホッ シ
・宝 物 奉 賢 英 法 師

459 V
ホーモ タテマツレル キョーゲン ホッ シ
・宝 物 奉 慶 玄 法 師

On the *SHOMYO* RECITED at the *NIGATSUDO* HALL
of the *TODAIJI* TEMPLE (XII-a)

(Continued from the preceding issue)

—With Special Reference to *Kakochō*—

Eizo MAKINO

Department of Music, Nara University of Education, Nara, Japan

(Received April 30. 1983)

During the term of the *Shunie* of the *Tōdaiji* Temple, from the first to the fifteenth of March, the *Kakochō*, list of the departed remarkable for meritorious services to the temple, is read in a chanting tone after the *Karichōzu*, which means a brief recess for urination, on two days of the term, the fifth and the twelfth.

The priest in charge of chanting the *Kakochō* is the *Kitashu-no ichi*, chief of the four common priests sitting in the north seat in the hall together with two superiors, for the twelfth, and one of the three common priests also seated with another two superiors in the south seat, or a common priest who has taken part in his fifth year's cult, for the fifth.

The original of the *Kakochō* in existence, put in good repair in the eighth year of Kambun (1668 A. D.), is a scroll about thirty meters in length with eighty sheets of paper pasted together. After that time on the names of the departed have been written down in a separate scroll, and those put on record so far in the two scrolls exceed 3700 in the aggregate.

The first part of the *Kakochō* is read off rather in a slow repressed tone, the second being chanted in a higher tone and pitch. The third part is read almost straight on, and the chanting of the last is finished off in a slow stream. The time required for this is about forty minutes.